

(わたしのお奨め)「世界は今」を解く迫力あるネタはこれだ!

## 「朝鮮半島」を解く迫力あるネタはこれだ!

馬居 政幸

### 1 「朝鮮半島」と「韓半島」

第一の「ヒント」は、テーマの中にある。日本列島に最も近い半島の変化は、その名称に現れるからである。

世界は今、新たな秩序を求めて、巨大な変化の中にある。第二次世界大戦後の世界秩序を構成した冷戦構造が解体したからである。ただし、それは欧米を中心とする視点。アジアは、ベトナム戦争を始め常に熱い戦争の中にあつた。東欧とソビエト崩壊後の現在も社会主義国は存在する。その接点となる北緯三八度線を自国の中にもち、南北に分断された半島国家が、大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国である。

この半島に住む人達にとって、東西対立に起因する悲劇と苦難は、今なお現実である。そして、日本はこの現実を構成する独立変数の一つ、すなわち当事者である。そのことを象徴するのが、「大韓民国」と「北朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)」という国名の表

記の仕方。日本が西側に属することを、直接反映したものだからである。

この表記を続けなければならない限り、列島と半島で生活する人々にとって、冷戦は現実であり続ける。ただし変化はある。その理解の糸口が「朝鮮半島」という名称にある。理由は、韓国の人達は「韓半島」と記すこと。

なぜ、韓国とのみ国交を結ぶ日本が「韓」ではなく「朝鮮」を「半島」の名称に用いるのか。

一応は、地理上の名称である以上、イデオロギーにとらわれずに伝統的な「朝鮮」を用いる、と説明できる。

だが、この名称が、東西対立のイデオロギーではなく、半島と列島との間にある二国間の歴史を反映した名称だとしたら、どうであろうか。

冷戦構造が明確に世界認識を規定している時、韓と朝鮮、いずれの用語を用いるかの判断は、それほど困難ではなかった。資本主義、社会主義、いず

れにせよ、自己の信ずるイデオロギーに従えばよかつたからである。また、半島と列島の歴史固有の問題よりも、東西の利害が優先された。

ところで、現代の世界史的变化の動因の一つは衛星放送に代表される国境を超えた高度情報化の進行。ボーダーレス時代の到来である。これは半島と列島の間の国境にもあてはまる。

分断された半島の人々の生活が、映像や直接訪れた人の言葉により明らかになり、既存のイデオロギーで判断することの誤りが、日本で生活する人達にも理解できるようになった。

同時に、半島とりわけ韓国の人達の日本観も明確に伝わるようになった。それは日本の加害性という事実に基づく厳しい評価を伴う認識。冷戦構造の崩壊は、このような韓国人の人達の評価を止める障害を取り去った。

列島と半島固有の歴史に対する評価の軸のみが残ったわけである。

これは公的な国家間の関係に解消できない判断軸。列島と半島で生きる一人ひとりの私的な生活に根ざした軸である。まさに国境を低くするボーダーレス社会ゆえの厳しさである。だがこの次元での問いこそ、社会の民主化の基盤である。この軸が「朝鮮半島」という表現をどのように判断するか。

### 二 八月十五日は光復節

「朝鮮」という名称は、韓国では、李氏朝鮮に代表される歴史用語か、朝鮮日報、朝鮮ホテルなどの特定の固有名詞にしか使用されない。それ以外は二つの意味で非難の言葉となる。

一つは、「六・二五動乱」(朝鮮戦争のこと。六月十五日に北が三八度線を超えて攻めてきたことを意味する)により敵となった人達をさす言葉。

二つは、「日帝三六年」(日本が支配した時代を総称する名称)の苦難を起因とする反日感情を喚起する言葉。加えて、この感情に拍車をかけるのが日

本人の発音。ハンゲルの発音は「チョソン」。「チョウセン」という日本の発音は、過去の記憶と重なる。

いかに学問的基準でも、それを読み聞く韓国人達が抱く感情(評価)を知るなら、無前提にこの言葉を使用できるだろうか。半島の変化の理解は列島の私自身の世界の理解でもある。これがあえて「ヒント」とする理由。

そしてヒント第二は、半島の変化の理解の契機は、半島と列島で生活する人々の間にある認識と評価のズレ。

その典型が一九四五年八月一五日の位置づけである。日本では終戦という名の敗戦の日。戦争への反省と平和の貴さを確認しあう日である。

だが韓国では、日本から独立し光が復した記念の日、すなわち「光復節」と名付けられた独立記念日である。

図1と図2は、私の経験に基づき、韓国における日本の情報と日本における韓国の情報を、公的・私的、日常的

図3 「日本の漫画のハンゲル訳」



井上雄彦 / 集英社

このような「共感の帯(コンガムデー)」を列島と半島で生活する人々の間(あいだ)にいかに見出すか。これが、日本の社会科教育が、半島の変化を創造する主体を育成するための最も重要な「ヒント」であると考える。

〈静岡大学教育学部助教授〉

「日本と韓国における相互の国に関する文化・情報の性格の差異」

図1 「韓国⇨日本」



—非日常的という軸で分類したもの。韓国での日本の情報は、I、II、III、IV、全てにある。それも「反日意識」に結びつく情報が多い。だが日本での韓国の情報は極めて少ない。  
このような現状が続く限り、いくら

図2 「日本⇨韓国」



公的に相互理解を強調しても、半島と列島の生活者の私的な世界での溝は深まるばかりであろう。だが、ポーターレスな状況は、半島の変化を創造するもう一つのヒントを与えてくれる。  
三 韓国のスラムダンク

図3は、日本の少年ジャンプに連載中の人気漫画「スラムダンク」をハンゲル訳に翻訳する過程の原稿。私が韓国の大元出版社で得たもの。この出版社から毎週発刊される漫画雑誌少年ジャンプに掲載されるものである。  
図1のIIIとIVの示したように、現在の韓国には日本の様々な若者文化や子ども文化が流通している。この事実はいデオロギーや過去の歴史とは異なる新たな相互理解の軸の誕生を意味しないか。私はこれを、列島と半島の子どもの若者が「真のイコールパートナー」として「共に生きる」ために、半島と列島との新たな変化を創造するための重要な契機、ととらえたい。  
ただし、韓国では、このような現状を批判する意見があることも事実。だが私は、「なぜ日本でも韓国でもこれほど漫画が子どもや若者に受け入れられるのか」との私の質問に答えてくれた少年チャンプ編集部長の黄卿泰(フ

アン キョンテ)氏の次の言葉を、四つ目のヒントとして提示したい。

「漫画には作者と読者の間に「コンガムデー(공감대) (共感帯)」があるからです。」

四 共感の帯(コンガムデー)

作者と読者は互いに異なる存在。それゆえ、コンガムデー(共感帯)は、作者と読者が同一の存在になることで生じるのではない。相互に異なることを認め合いつつ、作品という共通の場で、両者が互いに相互の世界を共有しようとする時に初めて生じる。

# 特集 「社会の変化」を解く・迫力あるネタ97選

「社会の変化・節目」を 変化と発展 伊東亮三 / 単一民族国家から多民族共生  
 という方向で教えるか 社会へ 斎藤秋男 / 「地域の見方」を変えよう 須原洋次

## わたしのお奨め 「この時代」を解く迫力あるネタはこれだ!

- 「古代国家」を解く迫力あるネタはこれだ!..... 本間 昇
- 「飛鳥時代」を解く迫力あるネタはこれだ!..... 伊東富士雄
- 「奈良時代」を解く迫力あるネタはこれだ!..... 小山 茂喜
- 「平安時代」を解く迫力あるネタはこれだ!..... 松田 孝
- 「武家政治」を解く迫力あるネタはこれだ!..... 平 光雄
- 「戦国時代」を解く迫力あるネタはこれだ!..... 小宮 隆
- 「江戸時代」を解く迫力あるネタはこれだ!..... 小林 修
- 「明治時代」を解く迫力あるネタはこれだ!..... 村井 俊之
- 「大正時代」を解く迫力あるネタはこれだ!..... 竹川 訓由
- 「現代」を解く迫力あるネタはこれだ!..... 本田 芳孝

## わたしのお奨め 「世界は今」を解く迫力あるネタはこれだ!

- 「朝鮮半島」を解く迫力あるネタはこれだ!..... 馬居 政幸
- 「中国」を解く迫力あるネタはこれだ!..... 柳原 秀一
- 「東南アジア」を解く迫力あるネタはこれだ!..... 作花 典男
- 「インド」を解く迫力あるネタはこれだ!..... 渡辺 尚人
- 「ヨーロッパ」を解く迫力あるネタはこれだ!..... 池野 範男
- 「アジア」を解く迫力あるネタはこれだ!..... 宮田 省一
- 「アフリカ」を解く迫力あるネタはこれだ!..... 村山 泰弘
- 「中東諸国」を解く迫力あるネタはこれだ!..... 安藤 正紀
- 「北アメリカ」を解く迫力あるネタはこれだ!..... 尾原 康光

- 「南アメリカ」を解く迫力あるネタはこれだ!..... 小西 裕久
- 「オーストラリア」を解く迫力あるネタはこれだ!..... 朝倉 福温

## わたしのお奨め 「社会の変化」を示すキーワードを解く迫力あるネタはこれだ!

- 「環境問題」を解く迫力あるネタはこれだ!..... 横山 秀司
- 「国際化」を解く迫力あるネタはこれだ!..... 奥住 忠久
- 「冷戦構造の変化」を解く迫力あるネタはこれだ!..... 山根 栄次
- 「価値観の多様化」を解く迫力あるネタはこれだ!..... 元木 健
- 「民族問題」を解く迫力あるネタはこれだ!..... 生地 陽
- 「情報化」を解く迫力あるネタはこれだ!..... 三橋 秋彦
- 「人権問題」を解く迫力あるネタはこれだ!..... 森 実

## 連載講座

- 社会科・新教材をどう授業化するか 10 北 俊夫
- 第五学年の新教材「通信の仕事」の授業づくり..... 北 俊夫
- 往復書簡(谷川片上)によるリレー討論 社会科授業研究の方法論 10 片上 宗一
- 若い教師のための社会科授業パワーアップ術 10 長谷 博文
- 各県の副読本情報 10 京都府の巻..... 高山 博之

- 「私の社会科ブックガイド 10」歴史教育に大転換を迫る古田史学..... 安藤 豊
- 「観察力を鍛える7月のワーク」..... 三六

- 3年 バックトゥザ・むかし..... 俵原正仁 中学地理 日本の工業発展を
- 4年 生活の工夫を読み取ろう..... 渡部栄二 見つめ直そう..... 勝又將雄
- 5年 のびる貨物輸送のナゾを追え!..... 鈴木健二 中学歴史 日清戦争と日露戦争..... 山下 洋
- 6年 政治の主人公はだれだ?..... 勝又明幸 中学公民 あなたの通貨度チェック..... 馬場一博
- 研究会案内 広島大附属三原小 / 大村市立西大村小・大阪市小学校教育研究会.....
- 表紙写真・モンフレ/扉・村上浩一 / 表2ふしぎ発見・わが県のネタ・八木 哲 / 表3今月の教材単元
- 一覧/裏表紙・世界の国旗ウォッチング・有田和正

平松孝治郎(愛知県大府市北山町=北山小学校)6年「野焼き」の授業

